

(4) 学校教育学部

② 教務関係

教務委員会における、

ア 運営・活動の状況

i) 委員会等の開催状況

平成29年度においては、教務委員会を15回開催した。

ii) 審議された主な事項

学部の教務に関する主な審議事項は、以下のとおりである。

- 1) 卒業判定
- 2) 転専修・コース判定及び専修・コース分け
- 3) 学部1年次生及び3年次生の進級判定
- 4) 前・後期学部再試験の実施・評価
- 5) 科目等履修生，特別聴講学生の受入れ等
- 6) 平成30年度学年暦
- 7) 平成30年度開設授業科目・授業時間割
- 8) 平成30年度非常勤講師担当授業科目
- 9) 平成30年度教員養成実地指導講師採用計画
- 10) 平成30年度保育士資格取得希望学生選抜試験
- 11) ティーチング・アシスタント等の実施計画
- 12) アクティブ・ラーニング対応教室の整備
- 13) 教務関係学内規則の制定・改廃
- 14) 年度計画及び自己点検・評価

iii) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

ティーチング・アシスタント及びティーチング・サポーターの選考の効率化を図るため実施要項の一部改正をした。

また、ティーチング・アシスタントの実施授業科目について、申請された全ての授業科目へ配分を行うこと及び実施授業科目の選定の効率化を図るため、実施授業科目の選定の取扱いを一部改正した。なお、ティーチング・サポーターの選定された授業科目の取消し・配分時間数の変更にかかる取扱いについては、ティーチング・アシスタントの実施授業科目の選定の取扱いを準用することとした。

イ 優れた点及び今後の検討課題等

i) 優れた点

ティーチング・アシスタント，ティーチング・サポーター及びリサーチ・アシスタントを担う学生を対象に、授業におけるアクティブ・ラーニングの実践をサポートするための理解を深める研修として、ファカルティ・ディベロップメント（以下「FD」という。）委員会と連携して、アクティブ・ラーニングに関する内容を主題としたFD研修会及びFD講演会を実施した。

また、平成29年3月22日（水）にカリキュラム企画運営会議で決定した「アクティブ・ラーニン

グを取り入れるための方針」に基づき、グループディスカッションや個別発表ができるよう個人機の配置，移動式ホワイトボードの設置，AV機器のデジタル化及び講義室カメラ映像投影システムの整備等，講義室の教育環境を整備した。

ii) 今後の検討課題

カリキュラム企画運営会議と連携して、「21世紀を生き抜くための能力+ α 」を備えた教員の養成に対応したディプロマ・ポリシー，カリキュラム・ポリシーを踏まえたスタンダード及びルーブリックに基づいた成績評価基準案について検討し，必要に応じて改正案を作成する。また，アクティブ・ラーニングに対応した講義室の教育環境を引き続き整備していく。